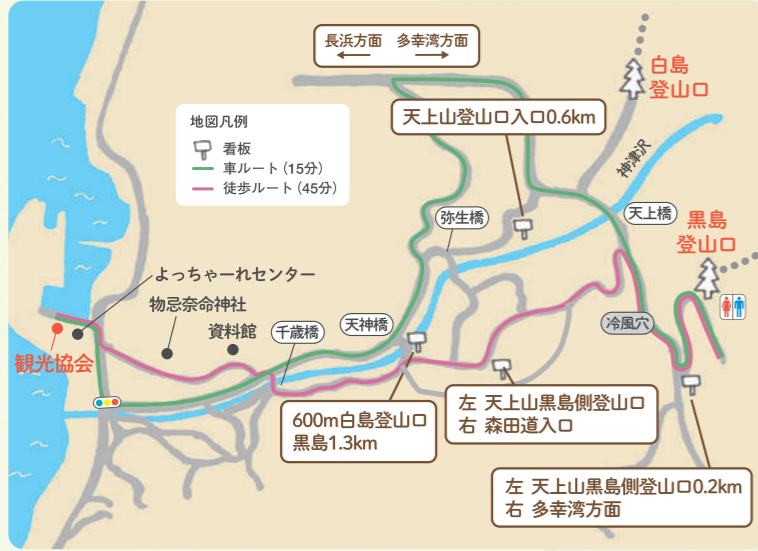


# 神津島天上山 山頂MAP

## 観光協会から登山口への行き方



## 天上山のみどころ

神津島の中央にそびえ立つ天上山。標高は572mながら、景観は日本アルプスクラスの稜線を思わせる不思議な顔を持つ山である。山のかたちは台形で山頂には大小さまざまな岩が連なり白い砂漠や池が点在している。また、四季折々に咲く美しい花や植物とともに、晴れた日には富士山まで見渡せる景観で一日中楽しめるため、お弁当をもっていくのがオススメ。

## 登山する時の注意点

- WC X3  
お手洗いは黒島登山口・白島6合目・不動池(バイオトイレ)の3ヶ所です。
  - 国立公園の特別保護区に指定されているため動植物の採集は禁止です。また歩道からはずれないようにしましょう。
  - 天上山でのキャンプおよび火気の利用は禁止です。
- 天上山には日陰がないため、特に夏場は水分補給を忘れずに。登山口付近に自販機等はありません。

## 天上山と神話

天上山は西暦838年の大噴火によってできた山で昔から島民が霊山として信仰している場所である。特に火口跡のひとつである不動池は、古くは島の漁師の信仰の対象でした。いまも池の中央に龍神を祀る社があり、近くには不動尊や大日如来まつる小さな祠が佇み、トレッキングの皆さんを優しく見守っています。また山頂の西側に位置する不入ヶ沢は、神代の世に伊豆の神々が、島に水を分けるための会議を開いたという水配り神話の舞台となった場所である。

黒島登山口 ▲190m  
 ※海を背に約1時間の急な上り坂がつづきます。

## 神津沢



**白島6合目**  
 ▲363m  
 初心者向けコースのスタート地点。車を2-3台置けるスペースあり。白島登山口までは下りて約30分。舗装された道路は遠回りになるので、注意! 下山口の矢印の通りに進み、登山道を歩きましょう。

**治山工事跡**  
 天上山の崩れた様子は白い斜面の部分。ここで行われた治山工事と砂防ダムによって集落が自然災害から守られている。

**黒島展望山**  
 黒島山頂から10分程登ったところにあり、眼下に広大な太平洋を一望できる。

**黒島山頂10合目**  
 黒島登山道の最上部で、黒島展望山と千代池の分岐点となる。

**オロシヤの石塁**  
 江戸時代に異国防衛のために作られた石塁跡。

**千代池**  
 火口跡に雨水が溜まってできた池。湯水時には干上がり苔が覆いつくす。

**ババア池**  
 その昔、島のおばあさんたちがお正月の準備用に神の葉を採りによってきたからことごとくババア池と名付けられた。湿地帯になっており、湯水時にはふんわりとした苔に覆われている。

**天空の丘**  
 360度の大展望台が満喫でき、空気の澄んでいる日は富士山や南アルプスまで見える。

**不動池展望地**  
 雨が上がったあとはハート型に水が溜まった不動池を望める。

**最高地点(三角点)**  
 天上山山頂のほぼ真ん中にある白砂の砂地だが、昨今は緑が多くなってきた場所。テーブルとベンチがあるので休憩ができる。

**表砂漠**  
 月面を思わせるような地形の砂地で静寂な場所。ツツジの時期になると砂漠の白とツツジのピンクのコントラストが美しい。

**裏砂漠**  
 足元の断崖越しに三宅島、御蔵島や稲田島などが望める。

**裏砂漠展望地**  
 池の中心には龍神が祀られています。また近くには不動尊が祀られています。

**不動池(ハート池)**  
 池の中心には龍神が祀られています。また近くには不動尊が祀られています。

**新東京百景展望地**  
 新東京百景に選ばれた展望地でバウムクーヘンのような地層の櫛が峰や伊豆諸島が見渡せる。

**不動尊**  
 池の中心には龍神が祀られています。また近くには不動尊が祀られています。

**那智堂**  
 池の中心には龍神が祀られています。また近くには不動尊が祀られています。

**白島登山口**  
 池の中心には龍神が祀られています。また近くには不動尊が祀られています。

